

教育現場に求められる対応力・実践力の修得

研究の概要

- 学校で起きやすい事象事例をもとに、シミュレーション学習を行います。救急処置が必要な場面を再現し、どのような対応や連携が求められるのかを体験してもらうことで、救急処置に必要な知識と技術を修得し、今後の課題を参加者で共有します。
- 性教育における効果を、縦断的・横断的に評価します。指導を行う際は、一人ひとりの心身の発育・発達に個人差がある点に留意して、子どもの実態に基づいた授業内容を構築します。アウトプットとして子どもにとって役立つ知識を身につけることと、自分の身を守る行動の実践を目指します。



キーワード



- 幼児教育・保育分野
乳児保育、子どもの保健、健康と安全の分野における研修
- 健康づくり分野
教育現場に必要な救急処置、食物アレルギー対応の研修
- 性教育分野
出前性教育講座

連携アピール



- 安全教育、救急処置対応
保育・学校現場に求められる救急処置は、医療機関に搬送するまでの適切な手当てが求められます。教職員に対して、チーム学校の一員として教職員一人ひとりが自分の果たす役割について学び、課題を見出すための研修を提供します。また、子どもたちに対して、ケガや事故を防ぐための安全教育を実施するとともに、自分たちでできる救急処置の技術を身につけさせることや、事故再発防止のための環境作りなどについての講習を実施します。
- 性教育講話
人権教育を基本とした生きるための性（生）教育を提供します。包括的性教育に根差した、命の安全教育をはじめ、自己決定できる対応力や自分を大切にできる実践力を育みます。教職員、子どもだけでなく、保護者への講習なども可能です。

研究者



小川 真由子

OGAWA

Mayuko

准教授



教育学部 教育学科

